

焼却・乾燥施設

破碎・選別された可燃性廃棄物や医療施設から排出される特別管理産業廃棄物(注射器やガーゼなど)はこの施設で焼却されます。その際に発生する温水を利用し、汚泥の乾燥を行なっています。(サーマルリサイクル)

クリーンな水蒸気 →

「第一種フロン類回収破壊業者」の認可を取得しており、フロン類が充填している業務用エアコン、冷蔵・冷凍機器(自動販売機を含む)、冷凍空調機器などのフロン類を無害化しています。



焼却・乾燥施設

固形燃料RPF施設

RPFは化石燃料に代わる固形燃料で、古紙や廃プラスチックなどを適切に分類・破碎し、石炭と同等のカロリーになるように調整し、成形加工して製造しています。有害な物質が含まれていないことなどを検査し、納入しています。



RPF



RPF製造ライン



破碎機



定量供給機



減容・成形機

安全対策

PRF原料に熱がこもらないように混ぜ、夜間～明け方にかけてはインターネット操作により散水を行っています。作業は早番・遅番とも必ず2人体制で行い、Webカメラの設置と警備会社との契約により監視体制を整えています。

焼却・乾燥施設

- 1 可燃性廃棄物・医療性廃棄物・回収されたフロン類などを焼却します。
- 2 焼却の時にフロンガスを炉に送り込み、フロン類を破壊し、無害化します。
- 3 冷却施設で温度を調整します。
- 4 バグフィルターによって有害物質を除去します。煤塵からは重金属を回収します。燃え殻の一部は路盤改良材やコンクリートブロックなどの原料として再利用されます。残りは最終処分場で埋め立てられます。
- 5 焼却時の温水を汚泥などの乾燥に利用します。(サーマルリサイクル)

固形燃料RPF施設

- 1 量などの大きな廃棄物を小さくします。
- 2 1軸破碎機で原料をさらに細かくします。
- 3 定量供給機により、廃棄物を作業効率の良い量で送り出します。
- 4 廃棄物を圧縮減容し、RPFを製造します。
- 5 製造時の臭いはオゾン水によって消臭されます。
- 6 製造されたRPFは外の集積ピットに運ばれ、性能検査を行います。